



Title	大阪大学低温センターだより No.15 裏表紙
Author(s)	
Citation	大阪大学低温センターだより. 1976, 15
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/20902">https://hdl.handle.net/11094/20902</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

## 編 集 後 記

エボック・メイキングな第15号の編集が終りいささかホッとした所です。本号は創刊以来4年目の第3号に当たりますが、この編集後記を書く榮譽が与えられました機会に、編集委員の一人として日頃の反省も兼ねる意味で1号から14号までの後記を読み返してみました。これによると本誌の動きは最所の一年は「何号までいけるか」という不安とおそれに満ちた幼稚園生さながら、2年目はこころのゆとりを持ちはじめた小学生の如く、3年目は我が人生に自信を得やる気十分の中学生、4年目は好奇心と探求欲盛んな思春期の高校生とでも申せましょうか、その一つの現れが本号執筆者のそうそうたる顔振れにも出ているといえます。

桐山、望月、浅田、真田諸先生より up to date で美しい原稿 或は表紙写真を期日通り正確に提出して頂きましたことを厚く御礼申し上げます。本号の企画がどのようにして生れどのように実現したかについてはここではスペースの関係で余儀なく割愛せざるを得ないとしても、ともかく本号の成功は(i)大阪大学における低温研究の層の厚さ、(ii)編集委員長以下編集委員一同の顔の厚さ、そして(iii)ウーマンリブのこわさを示しているといえましょう。

茨城県東海村の日本原子力研究所など思いがけない所で「低温センター便り」の記事についてコメントや質問を受け嬉しい驚きを経験したりする度に本誌が単に大阪大学内だけのものではなく広く全国的にも色々な意味で役に立つものになりたいと考えております。何とぞ活潑な御投稿、御批判をお寄せ下さる様御願ひ申し上げます。

(岡田 記)

大阪大学低温センターだより 第15号

昭和51年7月発行

編集責任者 長谷田 泰一郎

発行者 大阪大学低温センター

吹田分室 大阪府吹田市字山田上

電話 (06) 877-5111

内線 4105

豊中分室 大阪府豊中市待兼山町

電話 (06) 856-1151

内線 2562

印刷所 と う け ん 社

大阪市福島区海老江8丁目7番27号

電話 (06) 451-1061

代表 村 上 喜 与 志

